

令和3年度 今治市宮窪カレイ山展望公園指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市宮窪カレイ山展望公園
所在地	今治市宮窪町宮窪4703番地
指定管理者	<p>名称 NPO法人能島の里</p> <p>代表者 理事長 村上 利雄</p> <p>住所 今治市宮窪町宮窪4703番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>産業部 交流振興局 観光課</p> <p>TEL: 0898-36-1541</p> <p>E-mail: kankou@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	コロナ禍で観光客数は昨年よりは増えたが通常よりは少ない。キャンプ場は感染予防対策で利用者の数を減らして対応した。管理は通常。	B	事業の履行は適正に行われている。今後も施設の設置目的や管理運営の基本方針を理解し、利用者にとってのサービス向上に向け、積極的に業務に取り組んで頂きたい。
利用状況	C	コロナ禍で感染対策への協力もあって積極的な活動はしなかったが、必要な作業、トイレ掃除や草刈りなどの通常作業は行った。昨年より入出は若干増えた。	B	新型コロナウイルス感染症の影響については、避けようのない事態である。そのため、施設を利用可能になった際、安心して施設が利用できるよう、運営に尽力頂きたい。
事業収支	B	全体の予算内で施設の管理を行い、観光地化を図るために、必要な費用は最小限で支出した。収入支出は適切に処理を行った。	B	収入、支出に関して適正に行われている。利用者減による利用料の減少を適切に把握し、滞りない団体の運営に努めて頂きたい。
管理運営体制	B	月に一度定例作業日を設けている、この日は会員が集まって、主に清掃等の管理作業を実施した。日常的に行うべき作業はコロナ禍で最低人数で実施した。	B	限られた人員の中で、適正な管理運営ができるよう人員配置がなされている。人員が少ない中、お互いの情報や知識を共有し、お互い助け合いながら施設運営に努めて頂きたい。
管理運営業務	B	魅力ある施設を維持するため、清掃・剪定などを積極的に行い、景観美化に務めた。トイレ清掃に関しては、展望台に設置されたものは女性会員が、キャンプ場のものは女性会員が受け持ち適時清掃を行った。全体の公園清掃は土・日・祭日に多数の会員で適時行った。	B	集客力を上げるための美観上の工夫や清掃等適切な施設管理がなされている。テレビ番組やウェブメディアで紹介されることも見受けられるため、SNS等での積極的な発信につなげて頂きたい。
利用業務	B	ホームページやメディアを活用した広報活動、植栽管理等カレイ山展望公園内の美化などを行ったが、コロナ禍で自粛した活動も多かった。	B	産学交えた展示に向けて取り組んでおり、これにより新たな客層の利用者を呼び込むことを可能としている。今後はSNSなども積極的に活用し、イメージアップに取り組んで頂きたい。
その他業務	B	その他業務に関しては、多くの方に来場してもらえようように、積極的に活動を行った。とりわけ、駐車場管理業務に注力することによって、来場する車の安全性や円滑性に配慮した。今後も事故・災害を想定し、的確な予防対策を講じたい。また、公園に至る経路の美化清掃は困難な活動だが、視界が良くなり交通事故軽減につながるため積極的に行っていきたい。	B	利用者の事故予防に向けた取り組みに力を入れており、サービスの向上を図っている。近年のアウトドア需要の高まりを踏まえた上で、現地利用客のニーズを的確にとらえ、魅力向上に取り組んで頂きたい。
修繕業務	B	施設内美化を図るため、目に付いた箇所や階段の補修、水路清掃、及び施設の枯木の伐採等を行った。また快適な利用のため、キャンプサイトの整地を行った。	B	修繕業務について円滑に行っている。今後も利用者の安全と美観の確保を図って頂き、将来を見据えた修繕も検討頂きたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
備品管理業務	B	適切な備品管理を行い、故障等もみられなかったため、購入実績はなかった。	B	今後も適正な管理と効率的な更新を行って頂きたい。
行政財産の目的外使用許可 手続業務	B	物品販売のためのコンテナとそれに代わる建屋は、駐車場のスペースに侵食しないよう配慮して配置している。会員が食の安全を考え、ここでは主に減農薬で作られた地産の農作物を即売しているが、今年度の売上は24,100円とコロナ禍で昨年より減った。そのうちの90%を物品販売収入として商品提供者に支払った。 石の腰かけは展望台に上れない高齢者が利用できるため、人気スポットとなっている。また、カップルにも人気があり、多数の人に活用されることによって観光地化に大いに役立っている。 また、漫然とした印象のキャンプ場の風景を変化をつけ、利用者増加を図るため、パイレーツテントを建設中である。展望台1階は愛媛大学が大島石の学術調査の成果を展示している。	B	地元の特徴を生かした施設を設置しており、特色のある場所の提供を行っている。 申請手続き、運営面において適切な処理がなされており、利用者へのサービス向上が図られている。今後も継続して取り組んで頂きたい。
自主事業	A	週末に行っている市場は、キャンプ客以外の方にも訪れて頂いており、多くはないが売上げをあげている。コロナ禍で当能島の里の目玉イベントのラテン観月会は中止した。また自主運営の遠見茶屋も休店し人出はかなり減った。コロナ禍で中止したことは止むを得ない状況である。	B	物品販売によって観光客だけではなく、地元客に対する誘客も行っている。今後も施設のPRのため、新たなイベントの実施により利用客の誘致を図って頂きたい。
地域団体との連携	B	鶺鴒島はカレイ山展望公園から見える、瀬戸内の原風景が残る唯一の場所であり、鶺鴒島の魅力アップのため協働で活動を毎年行っている。今年には鶺鴒島住民2名と能島の里会員11名の計13名で清掃を実施した。また、大島石の良さを昨年に続いて有志の愛媛大生によって学術調査を行った。その成果を活かして会員有志が石テーブルの開発をした。	B	カレイ山展望公園から臨む鶺鴒島の魅力を守るため、今後も各団体との連携による清掃等協働活動を継続し、広域での地域活性化を図って頂きたい。
利用者アンケート	C	市との協議により、コロナ禍でアンケートは見送った。	C	コロナの影響については避けようのない事態であるため、施設利用の再開の目処がたち次第、実施頂きたい。
事故・苦情	B	駐車場管理を適切に実施しており、事故や設備の故障について、発見・通報等はなかった。	B	年間を通じて通報等は受けることはなく、施設を適切に管理して頂いた。緊急時の対応については出来る範囲で対応頂き、また未然に防ぐことが可能なものについては事前の修理等をお願いしたい。
指定管理者の経営状態			会計帳簿等については法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められる。指定管理者の経営状況についても事業収支一覧や経営状況分析指標等から判断した限り、指定管理を安定して行う能力を有していると認められる。	

総合コメント(市)

指定管理者は、条例等及び業務仕様書に基づき、カレイ山展望公園の魅力が十分に発揮できるよう、施設の管理・運営を適正に実施していると評価できる。地域の活性化を図って他団体との連携も積極的に行っているが、新型コロナウイルスの影響は甚大であり、利用者の減少は致し方ないものであるといえる。一方、他者と距離をとりながら楽しむことの出来るキャンプの需要が高まっていることから、これについて積極的なPRを行い、これまでの取り組みを継続しつつ苦情やアンケート結果を分析しながら、利用者に対するより良いサービスの提供の環境を整えることを望む。また、産学連携を行った新たな展示等の準備など、現状維持にとどまらない姿勢が伺える。今後も新たな客層を取り込めるイベントを企画し、施設の積極的な利用を図って頂きたい。

指定管理者選定審議会による総合評価

B
書類審査、指定管理者による事業説明、現地確認及び質疑応答等により管理運営状況を精査した結果、指定管理者は指定管理業務を適正かつ確実に実施されていると認められた。
今後は、SNSやホームページを用いた情報発信により、しまなみ沿線の眺望を活かした情報などを届け、更なる利用者増加の取組み等に注力していただきたい。